

長期インターンシップ

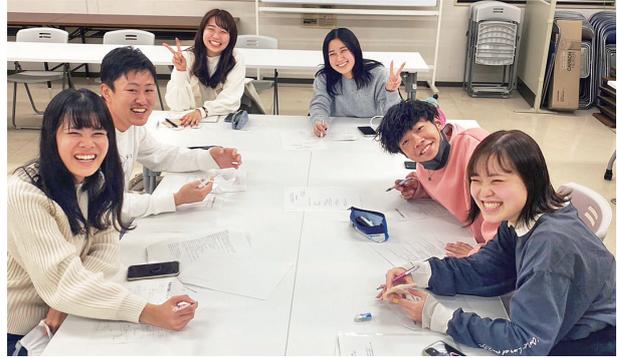
「いずみおおつ若者会議」委員募集!!

ひと味違うインターンシップを
経験してみませんか？

‘本物のまちづくりをあなたの手で’

「自分自身を成長させたい!」「まちづくりに挑戦したい!」
「地域に貢献したい!」と考えている学生の皆さんを対象とし、いずみおおつ若者会議(長期インターンシップ)を実施します。

約9か月間にわたり、本物のまちづくりに携わることは、
短期の職業体験では得られない特別な経験です。



【インターンシップ活動から得られる経験】

- ・学生たちのアイデアで企画から運営まで携わることができる
- ・他大学の友人ができるなど、学生同士のネットワークがつくれる
- ・市の事業に携わることで行政の仕組みや市役所の仕事分かる

【活動例】

- 若者の市政参画推進
選挙投票率の向上、未来の泉大津市について考える企画
- 市のプロモーション活動
市の魅力発信のための現地調査や街頭インタビュー、イベントの企画
- 新たな市民協働を目指したまちづくり
市民公益活動団体への若者の参加を促進 など

実施時期・期間

6月頃から令和6年3月まで

※学生同士で活動日を設定(不定期)

対象

4月1日現在、大学(大学院、短期大学を含む)、
高等専門学校および専門学校に在学し(市内外
在住は問わず)、以下の要件に当てはまる人

- 将来、地域のために働きたい、貢献したいという志を持っている
- 学生の間に特別な経験をしたい
- 活動を通して自分自身を成長させたい

定員

15~20人程度

申込

申込書を市ホームページからダウンロード。
4月17日(月)~5月22日(月)(必着)に以下の
いずれかで申し込み。

- 電子申請 市ホームページから
- 持参 人事課まで
- 郵送 〒595-8686 人事課

市長メッセージ

南出 賢一 市長

いずみおおつ若者会議では、学生の皆さんがまちづくりに興味を持ち、考え、積極的に意見を出し、自ら行動することで、市政に反映する機会を創出するだけでなく、この活動を通じて成長し、将来さらに高いステージで活躍できる人材となるような機会をつくります。

いずみおおつ若者会議が発足して4年。学生たちの活動は年々レベルアップしています。活動を通じて、自分自身やまちの将来と真剣に向き合い、これからの生き方や志を育んでもらいたいと考えています。

皆さんの挑戦をお待ちしています!
※市ホームページに動画メッセージを掲載

参加者の感想

学生のアイデアで企画から運営まで携わることができ、意見交換をすることで、新しい視点から物事を見て深く考える力が身につきました。

学生委員が同じ目標に向かって、一緒に活動を頑張り、就職活動でも支え合える仲間に出会うことができました。



市ホームページはこちら



SNSでも情報発信中!

Twitter
@izumiotsuWkaigi
Instagram
@izumiotsu_wakamonokaigi





令和5年度

施政方針 (要約)

【暮らしの中に一つでも 多くの笑顔が生まれるまちづくりを】

泉大津市長 南出 賢一



南出市長は、令和5年第1回市議会定例会で、市政運営にかかる施政方針を述べました。

全文は、市ホームページに掲載しています。

※次ページでは、令和5年度の主要事業を紹介します。

施政方針全文は
こちら



令和4年度は、「つむぐ ひろがる #おづの未来」をキャッチフレーズに、「だんじりパレード」や泉大津フェニックスで開催した「市民にぎわいフェスティバル」など、さまざまな市制施行80周年記念事業を官民連携・市民参加型で企画・実施し、まち全体が一体となり、大いに盛り上がった1年となりました。

まさにコロナ禍でのさまざまな困難を耐え抜き、乗り越え、「さあ、前へ進むぞ」という皆さんの想いが明るい声や笑顔に表れ、80周年記念の舞台で花開いたと感じています。

また、記念事業を通じて市民の皆さんもあらためて「まちへの愛着や誇り」を感じていただくことができたのではないのでしょうか。私も皆さんの団結力をあらためて実感するとともに、本市の魅力や可能性を確信し、決意を新たにしましたところ。[再始動(Re:START)]の契機となった80周年を起点に、官民が力を合わせ、市民や団体の皆さんとともに、90周年、100周年の未来へとつむぎ、持続的に発展していくまちづくりを進めてまいります。

令和5年度は未来へと繋がる第一歩の年です。市民の皆さんの暮らしの中に、一つでも多く笑顔が生まれるまちづくりを職員一丸となって取り組んでまいります。

市制施行80周年により、市内にもにぎわいを取り戻しつつある一方で、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響や、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー価格や物価高騰が市民生活や地域経済に大きな影響を与えています。

また、気候変動による自然災害の激甚多発化や国際情勢の変化による食料や金融、物流をはじめとした地政学上の問題など、何が起るかわからない、何が起きてもおかしくない世の中であり、このような中においても市民の皆さんの命と暮らしを守り続けることが我々、地方自治体の最大の使命であります。そのためにも、社会情勢の変化や流れを正しく予測し、的確に判断し、迅速かつ柔軟に対応する強靱な組織であるとともに、既存の枠組みにとらわれないチャ

レンジングな思考で課題解決に取り組む必要があります。

有事を想定した平時の仕組みの再構築や多様な選択肢を市民の皆さんに提供する考え方が非常に重要で、「安全・安心な食糧の安定的確保に関する構想」や「泉大津市健康づくり推進条例」はこれらの考え方を体現したもので、令和5年度はこれらに基づく取り組みを推進してまいります。

令和5年度は緑豊かな自然が感じられる公園「シーパスパーク」が、翌年には一体として整備している民間活用用地にレストランなどがオープンする予定です。市民相互の交流や、健康の学び、食育、スポーツの拠点として、また、アビリティタウン(※1)の形成を先導する場として、シーパスパークは本市の魅力・価値を大きく向上させる「市民の財産」になると確信しています。

また、保護者の負担なく、特殊な精米加工を施した栄養価の高い有機米を給食などで提供し、子どもたちの食育や健康な体づくりに繋げるほか、官民連携による「マタニティ応援プロジェクト」を実施するなど、より一層子どもを産み育てやすい環境を整えてまいります。

こういった状況を踏まえ令和5年度を「シティプロモーション元年」と位置づけ、本市の魅力や特色を、市内外に強力にPRすることで、シビックプライド(※2)の醸成や定住促進・交流人口創出の両面からアプローチし、「住み続けたい」、「住んでみたい」、「行ってみたい」と思っただけのまちづくりに、職員一丸となって取り組んでまいります。

結びに、令和5年度におきましても「将来に希望がもてる、元気な泉大津を作る」ため、3つの志である「憩いとふれあいのまちづくり」、「0歳から100歳の人づくり」、「地域経済を元気にする」の実現に向け全身全霊で邁進するとともに泉大津市を前に進めていくために全力を尽くす所存です。

※1 身体および認知機能や能力などを「アビリティ」と捉え、市民一人ひとりがそれらを伸ばせる都市ブランド

※2 まちに対する市民の誇り

● 令和5年度の主な事業 ●

「将来に希望がもてる元気な泉大津」をめざして

1 力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり

◆次期総合計画の策定

将来における市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針を示す市の最上位計画策定に向け、官民連携・市民共創により取り組みます。



◆女性の社会参画推進に向けた取り組み

就職活動を行う保護者が安心して子どもを預け、就職活動に専念できる環境整備に向けて、駅前施設の一時預かり事業の利用費用を補助します。また、女性が働きやすい職場環境の整備と職員の多様で積極的なキャリアアップを後押し、一事業所としてモデルとなるような取り組みを進めるとともに、市内事業者に対して働きかけます。

2 学びあうひとづくり 彩りあるまちづくり

◆食育を通じた健全な体づくり

小中学校および就学前施設の給食において、保護者負担を増額することなく、特殊な技術で精米した栄養価の高い有機米の提供など、給食内容のさらなる充実を図るとともに子どもの健康な体づくりを推進します。また、中学校給食の自校調理の実施をめざして設計業務を行います。



◆学校とシープラ連携による読書活動の推進

子どもの読書活動が豊かになるようサポートするとともに、地域で本や学びに触れられる「まちぐるみ図書館」の整備を進め、場所や活動内容がわかるマップを作成します。また、児童生徒一人一台端末に導入した電子書籍サービスを活用し、子どもの読書活動を推進します。



3 誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり

◆子育て支援の充実

市独自事業として7か月児がいる全家庭を対象に、専門職による家庭訪問と育児用品などを購入できるクーポン券(5万円分)を支給し、経済的な負担軽減と子育て支援の充実を図ります。



◆健康づくりに取り組みやすい環境の整備

「未病予防対策先進都市」をめざし、多様な機会を通じて健康チェックを実施するとともに、スマートフォンアプリによる運動・栄養に関する自身の健康状態を統合的に見える化できる環境を整備します。また、シーパスパーク内において、多様なメニューで健康課題が解決できるよう、新たな健康づくりの発信拠点の体制整備を進めます。

◆食による妊婦の健康増進

妊婦の健康づくりを応援するため、栄養価の高い米を提供する「マタニティ応援プロジェクト」を実施し、希望者に対し、金芽米最大10kgを出産月まで毎月提供します。



◆認知症予防に向けた取り組み

難聴による閉じこもりを予防し地域交流を促進するため、補聴器購入費用の一部を助成します。また、東京大学先端科学技術研究センターとの連携による認知症予防改善プログラムの開発に取り組みとともに、市民への啓発として認知症予防フォーラムを実施し、認知症予防に向けた取り組みを推進します。

◆「市立病院について」

コロナ禍以前から経営的な苦境にある市立病院では、地理的に近接し、かつ機能的にも類似・重複する府中病院との機能統合、再編・ネットワーク化により、今後の人口動態予測に基づく将来の医療需要の変化を見据えた持続可能な医療提供体制の構築と病院事業会計の健全化に向けた抜本的な収支構造の転換の両立を図るべく、すでに準備を進めています。

令和5年度は、「泉大津急性期メディカルセンター」の建設事業と並行して、「市立周産期小児医療センター」となる現病院の改修工事に着手し、同センターを中心とする人員の再配置に向けての検討を進めます。また、総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえた「公立病院経営強化プラン」を策定します。

4

安全で心やすらぐまちづくり

◆女性・若者など多様な視点で防災力を強化

防災への若者参画や多様性に配慮した対策を強化します。また、「躊躇(ちゅうちよ)せず避難する、その選択肢を増やす」ため、洪水浸水想定区域に居住する妊産婦向けにホテル避難制度を継続します。



◆安心して暮らせるまちづくりに向けての取り組み

犯罪被害者やその遺族の生活再建に伴う経済的・精神的負担を軽減するため、市独自の見舞金を支給します。

犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギョッとちゃん」▶



5

コンパクトで居心地のよいまちづくり

◆市民主体の空間づくり

「アビリティタウン」の形成を先導する場として、市民会館等跡地に市街地の中でもより「みどり」を感じられるシーパsparkエリアの供用を開始し、市民が主体となった空間づくりをめざします。



◆ゼロカーボンシティに向けた各種CO₂の排出削減

2050年ゼロカーボンシティにむけ、市民、事業者および市が一体となり、環境保全に取り組みます。また、電力の地産地消に向け、泉北クリーンセンターの廃棄物発電余剰電力を公共施設へ導入します。

6

誇れる・選ばれる・集えるまちづくり

◆新たな産業振興ビジョンの策定

本市の経済動向、地域・産業特性、市内企業の実態把握、経営課題、施策ニーズ等を把握するとともに、これまでの市の取り組みの効果を検証し、今後の方針を示す新たな産業振興ビジョンを策定します。

◆港湾エリアのにぎわい創出

港湾エリアの公園や緑地を活用した都市型アウトドア空間の創出をめざし、にぎわい創出などの活性化事業を行う団体等を支援することで、市内外の交流人口の促進を図ります。

7

健全な行財政と都市経営に基づく市民サービス

◆「デジタル田園都市国家構想」による個性を生かした地方創生への取り組み

オンライン申請サービスの手続き拡充や子育て情報の発信、育児日記といった機能を含んだモバイルサービスの提供など、さらなる自治体DX※の推進と市民サービスの向上を図ります。

※デジタル技術を活用して人々の生活をより良いものへ変革すること



◆市内外に向けて効果的かつ積極的な シティプロモーションを展開

子育てしやすい環境の整備や小中学校・就学前施設の給食内容の充実、図書館シープラや港湾エリアのレジャー空間、シーパsparkの開設などの魅力が整うことから、令和5年度を「シティプロモーション元年」と位置付け、市内外に向けて効果的かつ積極的なシティプロモーションを展開し、シビックプライドの醸成と子育て世帯の定住促進につなげます。

マイナポイント申込支援窓口が職員会館1階へ移動します

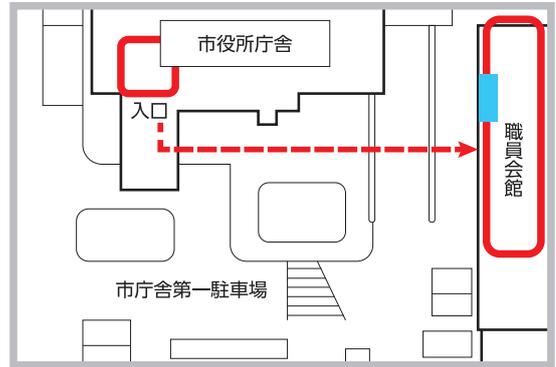
問合 政策推進課

4月3日から市役所1階入口付近に設置していたマイナポイント申込支援窓口は職員会館1階へ移動します。

場所 職員会館1階(市役所庁舎横)

時間 午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)

持物 本人のマイナンバーカード、カード取得時に設定した数字4桁の暗証番号、利用するキャッシュレスサービスの情報(ID・セキュリティコード)、口座登録する場合は、通帳など本人名義の口座情報がわかるもの



マイナポイントの申し込みは5月末まで！！

スマートフォンやパソコンで自宅から簡単に申し込むことができます(パソコンの場合は別途ICカードリーダーが必要)。マイナポイントについての詳しい内容は右の二次元コードから確認してください。

マイナポイント
第2弾サイト



注意！マイナポイントの申し込みは「2月末までにマイナンバーカードを申請した人」が対象です。

■泉大津PCRステーション閉鎖のお知らせ

これまで職員会館1階で実施していた泉大津PCRステーションは令和5年3月29日(水)で閉鎖しました。

犯罪被害者等見舞金支給事業を始めます

問合 人権くらしの相談課

市では、犯罪行為で亡くなられた人のご遺族または入院するなど重傷病を負った人の被害直後に直面する経済的な負担を軽減するため、犯罪被害者等見舞金支給事業を開始します。

支給対象 警察署で被害届が受理された被害者で、本市に住民登録がある(DVなどで本市に住民登録がない場合は市内在住者)

対象となる犯罪 殺人、傷害、放火、強制わいせつなど

申請期限 犯罪被害の発生を知った日から2年以内、もしくは、犯罪による死亡・重傷病の被害が発生した日から7年以内

見舞金の内容

種類	支給対象者	見舞金額
遺族見舞金	犯罪行為によって亡くなった市民の配偶者・子・父母・孫・祖父母・兄弟姉妹のうち、第1順位に当たる人	30万円 ※重傷病見舞金を受給した場合は20万円
重傷病見舞金	犯罪行為によって重傷病を負った市民	10万円

市民相談日、一部変更のお知らせ

問合 人権くらしの相談課

市民相談実施日に、一部変更や追加があります。 ※市民相談一覧表は42ページを確認してください。

種類	相談内容	相談日	先着	相談時間
法律相談	日常生活の中で起こるさまざまな法律問題について、弁護士による相談	毎週木曜日・毎月第2、第4火曜日 午後1時～5時 追加	6人	40分
行政書士相談	相続・遺言などについて、行政書士による相談	偶数月第1水曜日 変更 午後1時～3時	6人	20分
カウンセラーによる女性相談	日常生活における不安や悩みをフェミニストカウンセラーがあなたと一緒に考えます	毎月第1火曜日・第3水曜日 変更 午後1時～4時	3人	50分



4月以降の新型コロナワクチン追加接種のスケジュール

国から「特例臨時接種」として、無料での実施を令和6年3月まで継続する方針と、今後のスケジュールが示されました。追加接種可能な5歳以上すべての人を対象に秋開始接種(9～12月にかけて1回)を行う予定です。

また、重症化リスクが高い65歳以上の高齢者や5歳以上の基礎疾患がある人などは、春開始接種(5～8月にかけて前倒しでさらに1回)を行う予定です。

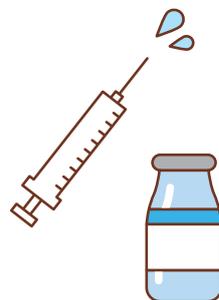
使用するワクチンは、春開始接種には、オミクロン株対応2価ワクチンが基本となる予定です(秋開始接種の使用ワクチンは未定)。

また、春開始接種以降の接種については、重症化リスクが高い人以外は、接種勧奨および努力義務の規定が外れる予定です。

なお、初回接種(※)がまだの人は、従来型ワクチンとなる予定です。

接種対象など詳細が決まり次第、ホームページなどでお知らせします。

※初回接種とは、6か月～4歳の人は1～3回目接種、5歳以上の人は1・2回目接種を行うこと。



市ホームページ



ワクチン接種を希望される人へ

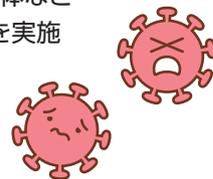
国は、令和5年度も引き続き新型コロナワクチン接種体制を継続する方針ですが、接種を希望する人は、新型コロナウイルスの特徴を確認のうえ、予防接種による期待されるといわれるメリットと、わかってきた副反応などのデメリットを十分理解したうえで、慎重に判断してください。詳しくは、二次元コードからご確認ください。

ワクチンの安全性と副反応(市ホームページ)



新型コロナワクチン接種後の体調不良やコロナ感染後の後遺症などの相談窓口

- **ワクチン接種後の体調不良や健康被害救済制度、市独自の健康被害支援金に関すること**
保健センター ☎0725・33・8181
- **新型コロナ感染後の後遺症やワクチンの副反応などに関するオンライン相談**
専門医が個別対応
- **ワクチン接種後の体調不良や長引く副反応などの相談窓口**
市内医療機関
- **後遺症改善プログラム**
(ふるさと納税型クラウドファンディング事業)
医師が立ち合いのもと、ヨガや整体など自己治癒力を高めるプログラムを実施
- **府新型コロナワクチン専門相談窓口**
接種後の副反応などに関する相談に専門の相談員が対応
☎06・6635・2047(24時間対応)



新型コロナ感染およびワクチン接種後の健康状況などを把握するためのアンケート調査のお願い

所要時間 4分程度 対象者 市内在住・在勤・在学の人



ワクチン接種後の体調不良などへの支援に関する情報はこちら▼

市ホームページ

